

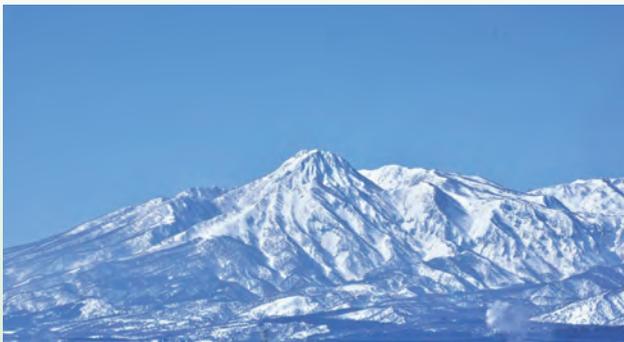
東洋大学校友会
新潟県支部会報
第38号

令和4年10月23日発行

南水

発行
東洋大学校友会新潟県支部
発行者 小島正弘
発行所 〒943-0891
上越市昭和町2-19-30
TEL 025-525-3825
印刷・製本 株式会社 本間印刷所

新潟を代表する越後の名峰100名山の一つ妙高山



上越地域を代表する山であり、上越で生まれた者は、誰もが、朝な夕なに眺めて育っており最も親しみある山です。故郷といえは妙高山です。

また巻頭言に学祖 井上円了の紹介がありますが、有恒学舎に学祖が訪問された折に妙高山の勇姿を眺めていると思います。



●●● 巻頭言ごあいさつ ●●●

支部長 小島正弘
S39年経済学部経済学科卒

東洋大学校友会新潟県支部の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。これまでの三年間、県支部発展にご尽力されました木村国夫前支部長の後任として、2021年12月5日開催の支部役員会で選出された小島正弘です。令和4年4月(2022年)から令和7年3月(2025年)まで上越地区に事務局を置き、新役員で働きますので、校友の皆様には引き続き、

東洋大学校友会新潟県支部活動に、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて令和4年の年頭を飾った第98回箱根駅伝では復路2位、総合4位と各大学の強豪ひしめく中で、堂々の活躍で、立派な成績を収めてくれました。卒業生として選手諸君には拍手を送りたいと思います。又、大相撲初場所(令和4年1月場所)では、横綱を破った御嶽海が3度目の優勝を果たして、ついに大関へ昇進しました。次の目標は横綱です。非常に楽しみにしています。また大相撲春場所(令和4年3月)で新関脇の若隆景が初優勝を飾りました。(御嶽海の2年後輩とのこと)新関脇の優勝は86年ぶりとのこと、東洋大学を卒業し、入門して5年での快挙、次の大関候補の筆頭に躍り出たと新聞報道されました。校友として誇らしいニュースばかりです。今後の活躍を大いに期待したいと思います。

丁度良い機会ですのでこの紙面をお借りし上越地区について少し触れておきたいと思います。上越は自然と歴史、文化あふれる街と言われています。親鸞聖人・上杉謙信・前島密・川上善兵衛・坂口謹一郎など多くの偉人がこの上越で偉大な足跡を残しています。校友の皆様も是非訪れてみてください。東洋大学の創立者井上円了(1858年安政5年生まれー1919年大正8年没)に関するものとしては、有恒学舎(上越市板倉区)の創設者、増村朴斉と交流がありました。井上円了は有恒学舎「現在の県立有恒高校」開校式に自ら出席し、激励し、終生朴斉と有恒学舎を支援し続けたとのこと。今も残る、勝海舟の書「有恒学舎」の扁額は、井上円了を通じて届けられたもので、「朴斉の恩師の一人が井上円了であった」と上越偉人伝は伝えています。

ところで、話は変わりますが、2020年(令和2年)9月16日東洋大学校友会事務局発で校友会が「一般社団法人東洋大学校友会」として発足しました。改革の重要な柱として、校友会のIT推進事業があげられ、上・中・下越地区がそれぞれIT推進委員を選出し、研究、指導等が進められてきました。上越地区では、Web会議開催について、次のような議論をしました。①Web会議の目的、②Web会議の開催方法、③Webの開催準備、④開催する場合の課題、⑤開催地区の対応等を議論し令和4年(2022年)1月ZoomによるWeb会議の勉強会を行い、3月に入りさらにZoomマニュアルにもとづいてWeb会議の実演を行い、令和4年4月24日(日)に、第1回新潟県校友会県支部役員会をWeb会議で実施、問題なく実施できたことは、役員としてうれしい限りです。東洋大学校友会事務局としても、令和4年度版から今までの紙媒体の「事務手続きの手引き」についても、紙媒体での発行を取りやめ、校友会ホームページからのダウンロードで届けるとの事です。ここにもITの波が押し寄せてきており、感慨深いものを感じます。

東洋大学の理念でもある「他者のために自己を磨く」を実践すべく努力しますので、校友の皆様のご協力を何卒よろしく願いたします。

令和 4 年支部役員会 Z O O M で開催

4月24日（日曜日）に、上越市音羽館において、東洋大学校友会新潟県支部令和4年度第1回役員会が開催されました。今年度は、支部長が長岡地区の木村さんから新たに上越地区の小島さんにバトンが渡され、小島支部長のもと、事務局を上越地区が担い新たな体制での開催となりました。また、今年度からZoom会議を導入し、ハイブリッド型での役員会開催となり、新潟・長岡などからはオンラインでの役員会参加が可能となり、移動に伴う負担のない合理的な役員会開催となりました。



役員会では、小島支部長以下令和4年度役員体制を確認し、その後、令和3年度の会務報告及び収支決算、令和4年度の事業計画及び収支予算を確認、承認しました。

なお、今年度支部総会（長岡地区）開催については、新型コロナウイルス感染症の収束の気配が見えないことを考慮し、昨年に引き続き開催中止を決定しました。

次回（令和5年度）の総会は持ち回り順に従い新潟地区での開催となります。

「甬水」38号については、新体制のもと時間的余裕をもって編集することとし、レディスクラブの活動については、担い手の発掘も含め体制整備について検討していきます。

各地区活動については、状況を踏まえながら活動を実施していきますが、陸上競技部、野球部活動の激励募金活動について、それぞれの活動が流動的なこと、また、新型コロナウイルス感染予防の面からも募金活動については中止とし、状況を注視することとします。コロナ感染禍で対面での校友会活動が難しい状況にありますが、役員会へのZoom会議導入など、今やれること、校友の皆さんと知恵を出し合い工夫していきたいと思っております。

校友の皆さんにおかれても、コロナ感染症の感染拡大防止に努めるとともに、健康に十分留意されお過ごしください。



令和4年度 東洋大学校友会新潟県支部役員名簿

役 職	氏 名	卒業学年	郵便番号	住 所	電話番号	メールアドレス	備考欄
顧問	安藤 良顕	S43 工学	940-0046	長岡市四郎丸1-10-15	固定：0258-32-4324 携帯：080-3503-1337		
顧問	植木 宏	S41 文学	943-0823	上越市高土町2-6-16	固定：025-523-5847 携帯：090-5579-6186		
顧問	斎藤 淳	S53 法律	959-1811	五泉市三本木3-1-16	固定：0250-43-1289 携帯：090-1454-4773	パソコン：atsushi@ak.wakwak.com	理事
支部長	小島 正弘	S39 経済	943-0891	上越市昭和町2-19-30	固定：025-525-3825 携帯：080-5470-7089	パソコン：masa1218@joetsu.ne.jp	
下越地区 副支部長	本間 直彦	S50 英文文	950-0992	新潟市中央区上所上 1-12-6	固定：025-283-3919 携帯：090-8853-3169	パソコン：honmain@blue.ocn.ne.jp	
中越地区 副支部長	木村 国夫	S45 経済	940-0075	長岡市渡里町3-11	固定：0258-32-7868 携帯：080-1098-2340	スマホ：kunio0823@gmail.com	
上越地区 副支部長	中川 一成	S41 経済	942-0062	糸魚川市中央2-13-34	固定：025-552-2048 携帯：		
事務局長	吉田 実	S53 応化	943-0804	上越市新光町2-3-33	固定：025-525-7458 携帯：080-5063-6562	パソコン：minoruyoshida1955@yahoo.co.jp 携帯：m.yoshida1955shinkou@ezweb.ne.jp	I T 推進委員
会計部長	石田 秀男	S41 経済	942-0071	上越市東雲町2-8-16	固定：025-543-7224 携帯：090-4202-8793		代議員
会報部長	高島 幸男	S47 経営	943-0861	上越市大和1-1-27	固定：025-525-5841 携帯：090-1425-9969	パソコン：y.takashima.1030@gmail.com	
幹 事	澤海 雄一	S48 経済	942-0039	上越市飯塚29-1	固定：025-544-9100 携帯：090-5784-8715	パソコン、携帯：gt845522@cg8.so-net.ne.jp	
幹 事	牛木 良仁	S46 電気	943-0892	上越市寺町1-11-28	固定：025-524-5118 携帯：090-1030-9497	パソコン、携帯：teramatiatom@gmail.com	
下越地区 事務局長	阿部 吉弘	S55 経営	959-1874	五泉市横町1-2-28	固定：0250-42-5061 携帯：090-1846-7648	パソコン：usnavy320826_cb@yahoo.ne.jp	代議員、 I T 推進委員
中越地区 事務局長	原 薫	S54 土木工	940-2313	長岡市吉崎937	固定：0258-42-2659 携帯：090-2477-6648	パソコン：koh.95511@gmail.com	I T 推進委員
上越地区 事務局長	山崎 次男	S45 経営	943-0145	上越市今池498	固定：025-525-4086 携帯：なし		
I T 推進 委 員	津田 進	S41 応社	940-0087	長岡市千手1-4-1-305	固定： 携帯：090-4610-6278	携帯：july.1941@docomo.ne.jp	代議員

令和3年度 東洋大学校友会新潟県支部収支計算書

(自: 令和3年4月1日~至: 令和4年3月31日)

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 次期繰越収支差額の内訳, 現金, 普通預金, 計.

上記のとおりご報告いたします。
令和4年4月3日 支部長 木村国夫
上記決算報告について監査した結果、適正であると認めます。
令和4年4月3日 監査 重原業

令和3年度 会務報告 (2021年4月1日~2022年3月31日)

- 2021年
4月4日(日) 新年度計画準備役員会 佐田邸(10:00~11:00 5名出席)
4月25日(日) 令和3年度第1回役員会 坂井邸(11:30~14:00 11名出席)
5月15日(土) 令和3年度支部長会 東京→中止
5月27日(木) 上越地区役員会
6月6日(日) 第2回役員会 坂井邸→中止
6月20日(日) 上越地区総会 中止
6月27日(日) 中越地区役員会 坂井邸(総会等案内状郵送)→中止
7月 城西支部総会→中止
7月 浦水会新潟県支部総会→中止
7月23日(金) 東京オリンピック
8月24日(火) 東京パラリンピック
8月 大学野球サマリーリーグ観戦・激励→中止
8月29日(日) 第90回校友会新潟県支部総会(上越地区)上越市→中止
9月 陸上競技部「山古志合宿」→中止
(陸上競技部、野球部への激励活動中止は4/25役員会で決定)
9月 「浦水37号」県支部創設90年記念号→本部→校友会員へ郵送する
10月2日(土) 米百俵まつり→中止
10月17日(日) 大学対抗ゴルフ大会 上越在住者4名参加
10月24日(日) レディースクラブ「女性の集い」→中止
10月24日(日) 臨時役員会 佐田邸(10:00~11:30 5名出席)
11月7日(日) ホームカミングデー
11月13日(土) 白山会(下越地区交流会) 13名出席
12月5日(日) 第3回役員会(年間活動の総括など、忘年会)12名出席
12月12日(日) 下越地区役員会
2022年
1月22日(土) 駅伝祝勝会(長岡市 彦乃)(まん延防止等重点措置1/9~3/6)中止
2月17日(木) 安吾忌 新潟市秋葉区大安寺 齋藤、阿部、大橋3名墓参
4月3日(日) 支部会計監査

令和4年度 東洋大学校友会新潟県支部収支予算書

(自: 令和4年4月1日~至: 令和5年3月31日)

Table with columns: 科目, 令和4年度予算案(イ), 令和3年度予算額(ロ), 令和3年度決算額, 増減(イ)-ロ, 摘要.

Table with columns: 科目, 令和4年度予算案(イ), 令和3年度予算額(ロ), 令和3年度決算額, 増減(イ)-ロ, 摘要.

令和4年度 事業計画 (2022年4月1日~2023年3月31日)

- 2022年
4月3日(日) 新年度計画準備役員会
4月24日(日) 令和4年度 第1回役員会(新役員、支部総会等事業計画)
5月 令和4年度支部長会
5月26日(木) 上越地区役員会
6月5日(日) 第2回役員会(支部総会等協議)
6月19日(日) 上越地区総会
6月26日(日) 中越地区役員会(総会等案内状郵送)
7月 城西支部総会
7月2日(土) 浦水会新潟県支部総会(ANAクラウンプラザホテル)
8月 大学野球サマリーリーグ観戦・激励
8月 「浦水38号」県支部創設91年
8月21日(日) 第91回校友会新潟県支部総会(中越地区)(長岡市 長岡グランドホテル)
9月 陸上競技部「山古志合宿」
10月1日(土)
10月2日(日) 下越地区気軽な雑談会(ZOOM)開催
10月 大学対抗ゴルフ大会
10月 レディースクラブ「女性の集い」
10月23日(日) 臨時役員会
11月 ホームカミングデー
11月12日(土) 白山会(下越地区交流会)
12月4日(日) 第3回役員会(年間活動の総括など、忘年会)
12月11日(日) 下越地区役員会
2023年
1月21日(土) 駅伝祝勝会(長岡市 彦乃)
2月17日(金) 安吾忌
4月2日(日) 支部会計監査

上越だより

■ オンライン校友大会及び寄附講座の講師として

H16法学部法律学科卒 **岩 船 尚 貴**
(上越教育大学附属中学校指導教諭)

IT推進委員として、本部より依頼を受けて校友会HPブログ「卒業生活躍」を寄稿したところ、縁あって校友大会でお話をしたり、寄附講座講師として学生に授業をしたりする機会をいただきました。以下、御報告させていただきます。

◇オンライン校友大会講演会

令和3年10月24日(日)第47回校友会がオンラインで開催されました。大学主催のホームカミングデーとの同日開催ということもあり、オンラインではありましたが、多くの参加者が集まり、活気あふれる校友大会となりました。イベントの一つとして、卒業生による講演会が行われ、3名の登壇者の一人として、お話をさせていただきました。テーマは「父から受け継いだTOYO魂」とし、親子2代で東洋大学の門をくぐり、体育会硬式野球部で過ごした学生時代のこと、東洋大学で学んだことを礎として教師生活を送っていることとお話しました。講演会動画は校友会HPにてアーカイブ配信されていますので、ご笑覧いただけたら幸いです。



2004年 法学部法律学科 卒業
岩船 尚貴氏

父：岩船 信男
岩手県立宮古高校
～東洋大学
硬式野球部副主将
4年時、一部昇格を果たす
大学卒業後新潟へ
関根学園高校野球部監督となる

父(昭和40年頃) 私は生まれてなかったということになります

オンライン講演会の様子



講演会動画及びブログ記事

◇寄附講座「社会で活躍する校友たち」

令和3年11月27日(土)に校友会寄附講座の講師として、現役の東洋大学生を相手にオンラインで授業をさせていただきました。これは、創立者井上円了の思想と実践を学ぶために、大学(文学部)と校友会が協力して社会で活躍する校友から学生に授業を行うというもので、平成15年度から続いている取組です。

当日は、硬式野球部に所属しながら教師を目指した学生時代、夢だった教師になってからの日々、仕事のやりがいと使命感などをお話させていただきました。また、後半は実際に中学校で行っているタブレット端末を活用した授業をワークショップ形式で、体験していただきました。



2007年
新潟県公立学校
中学校教諭に採用
授業に学級に部活…
仕事に追われながらも
子供と共に
「生涯青春」を駆け抜ける

寄附講座授業スライドの一部

授業後の感想には、「コロナ禍で初めて大学の方とお話できて楽しかった」、「今時の中学校のオンライン授業が体験できて感動した」といった嬉しいコメントが多々ありました。100名を超える学生たちのエネルギーを、パソコン越しにひしひしと感じ、私自身も学びの多い機会となりました。東洋大学の理念「他者のために自己を磨く」。改めて、この言葉の意味を再確認し、教師として、東洋大学の校友として自己研鑽をしていきたいと思っています。

中越だより

坂口安吾先輩

S61年社会学部社会学科卒 関 和之

私の父が、作家坂口安吾の甥（その母親アキは、明治30年生まれは安吾の六姉、安吾は十三人兄弟の十二番目）と小学校の同級生で子供の頃から「坂口安吾」という名前だけは存じていました。

父との縁でこの甥御さん（故人）と何度か坂口安吾に関しての印象をお伺いしたことがあり、その印象は文学史に記載されていないエピソードもあり、今回、甫水で紹介するのも一興かと存じ、以下に記させていただきます。（関係者の皆様にお断りをしない失礼はあらかじめお詫び申し上げます。営利目的ではないので、どうかお目こぼしを）

坂口安吾（本名炳吾1906年明治39年生－1955年昭和30年没）は1926（大正15）年仏教の本格研究を志すため4月に東洋大学印度哲学倫理学科第二科（現・インド哲学科）に入学。卒業は、1930（昭和5）年。

東洋大学在学中（昭和3年）にラテン語、フランス語を学ぶために、神田三崎町にあるアテネ・フランスに通い始める。この頃から小説家への夢を固める。（以上、ウィキペディアより）

安吾の甥御さん（以下、K氏と表記させていただきます。「」内はその方の発言とさせていただきます）からお伺いしたところによると、「雪が嫌いで、冬は来ない」し、「戦後、墮落論、白痴等で流行作家になってからは、1度も来ていない」とおっしゃっておいりました。

安吾が来る際、葉書で連絡があったそうで、その葉書が残っていれば、結構な古書価格になりますよ、と無粋なことを申しましたら、「おふくろが風呂の焚きつけにして燃やした」と事もなげにおっしゃられた。

安吾が来る際は「着古した浴衣で来るので、おふくろが新しく浴衣を縫っていた」そうで、1日で縫えとおもわれなかったのも、その間、安吾は何をしていたのですか？と伺ったところ、「酒を飲み続けていた」そうで、ある時、壇一雄と二人で昼は魚野川の対岸にある「川口やな」でお酒を飲み夜はK氏宅で飲み、3日間飲み続けていたそうで、その時は、夜飲み用に「リュックサックに空の一升瓶を3本詰められ、八海山までおつかいにやらされた」とおっしゃっておいりました。

10歳前後の少年が、往復4・5時間の道のりをおつかいにやらされるのだから大変である。しかも、帰りは、コワレモノ注意の6キロ近い荷物を背負ってである。

身内ならでの視線であたたかく接していたのか、思い出がそう言わせたのかは分かりかねますが、ほのぼのと話されていたK氏がとても印象的でした。

作家、故開高健はそのエッセイの中で、「正気を極めた狂気がこの国にはなさ過ぎる」と記していますが、戦後の混乱期に「墮落論」で一世を風靡した我らが先輩、「坂口安吾」こそ、コロナ禍で混乱している今の時代に、再評価されるべきだと思うのですが、如何なものでしょうか？



2000年より自家で生産しているお米の販売を始める。

下越だより

令和3年の新潟白山会が開催されました

令和3年度の新潟白山会が、11月13日新潟駅南の富来屋で開催されました。参加人数は例年並みの13名でした。

会は阿部吉弘氏（S55経営卒）の司会で開始され物故者への黙とうの後、生熊興司氏（S43経営卒）の乾杯。その後出席者の近況報告や、前出の阿部氏が音源化した、「みんなで仰ぐ頌徳碑」を聴いた後、恒例の東洋大学グッズクジ引き大会をおこないました。

まず最初に昨年1番クジで目玉景品の扇子を引いた長谷川喜昭氏（S47経営卒）に今年も運をつなげていただく為クジ順番号をひいていただき、1番クジにあたった阿部氏が、目玉景品の一つのニット帽を引き、見事運をつなげました。

その後当たった景品を披露したり、景品を物々交換したりと和やかに進められました。又、経営学部の学部バッジ争奪ジャンケン大会も実施し、漆原道夫氏（S49経営卒）が見事バッジを獲得。早速、嬉々としてバッジを付けていました。

「こんなに楽しい会なら年に2回くらい、やってほしい。」との声もあがりました。最後に全員集合写真を撮り、再会を約束し散会しました。（コロナ感染症対策を行ったうえで開催をいたしました。）



安吾忌がしめやかに開催されました

令和4年2月17日新潟市秋葉区大安寺にある坂口家の墓の前に15時に集合。2月の寒気の中、安吾に思いを馳せる人が誘い合わせて墓参いたしました。

校友の齋藤 淳氏、阿部吉弘氏、大橋健一郎の3名が校友を代表して墓参いたしました。



校友の作品展

切り絵

切り絵との出会い

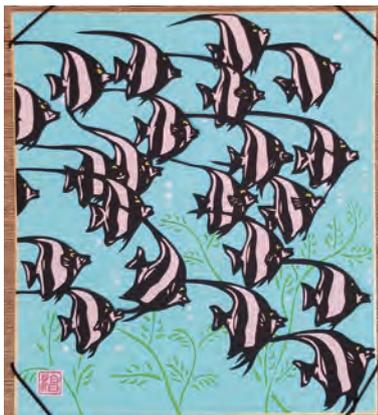
それはまだ、アルビレックス新潟がJ1で戦っていたころ、私もスタジアムで応援しておりました。

隣のサポーターから、切り絵の展覧会の案内を頂戴しました。毎年のように展覧会に足を運び、素晴らしい作品の数々に感動してきました。

職場を離れ、自由の身となったおり、カルチャーセンターの講座に切り絵があり参加させて頂きました。



S53年法学部法律学科卒 齋藤 淳



先生は、かのサポーター氏。講座に参加して4年目、今回皆さんに紹介する作品は、今年の展覧会に出品した駄作です。

切り絵は、白黒での表現が基本ですが、「熱帯魚」や「トウモロコシ」など色を入れた作品づくりも習っています。「法隆寺」は、先生のスケッチに自ら墨入れをして作品に仕上げたものです。少し線が甘い気がします。

切り絵は、白黒の世界ですが、アルビレックスには、白星を重ねてもらい、来シーズンはJ1の舞台で活躍することを願っております。

川柳

S48年経済学部経済学科卒 坂田 康雄

○除雪車が残して行った雪だるま

令和3年3月8日

一気に除雪しなければならぬオペレーターが、おそろく子供の作ったであろう雪だるまをそっと残していったやさしさと、それを目にとめた作者の心が光る(本間会報事務局長個人の感想)

○百薬の長も私の常備薬

令和4年5月2日

○一本つけて今日は父の日

令和4年6月20日

作者も酒好きではあるが、身体に気を付けて酒をたしなんでの姿が目浮かぶ(本間会報事務局長個人の感想)

○ジャムの瓶開けてと男立てに来る

令和4年7月18日

ワタシってダメね、アナタが居ないとにもできない。ボクにまかせておきなさい。ハイ。(日報選者評) ほのぼのとした夫婦愛ですね。(本間会報事務局長個人の感想)

※この4作品は全て新潟日報の日報読者文芸に掲載された坂田氏の作品です。他にも多数あるのですが、今回は、この4作品を選ばせていただきました。

ゴルフ大会結果報告

第17回となる大学対抗親善ゴルフ大会が10月17日悪天候の中9チーム32名の参加で上越市の妙高サンシャインゴルフ倶楽部で行われた。

大会は団体戦・個人戦が行われ、澤海さんが東洋大で初となる個人戦シニアで見事優勝をすることが出来ました。

東洋大学からは澤海さん、高島さん、杉澤さんの3名の参加でした。



優勝カップを手にする澤海さん

事務局より

◎校友会費納入についてのお願い

支部活動は校友会費納入による、支部還元金によって運営されております。納入いただいた方には、校友会本部から「東洋大学校友会報」が年2回送付されます。この会報「雨水」も還元金によって多くの方々の手をわずらわし、発行させていただいております。

年会費 3,000円 終身会費(1回完了) 50,000円
郵便振替 口座番号 00150-0-91833
加入者名 東洋大学校友会

◎校友会本部事務局よりメールアドレス登録のお願い

「校友会ジャーナル」は、一般社団法人化を機に令和2年10月より電子版を前提にした作り方にリニューアルいたしました。今後は、段階的にメールの配信に切り替えていく予定です。メールアドレスの作成・登録についてご協力の程よろしくお願いいたします。

【メールアドレス登録の連絡先】

東洋大学校友会事務局
F A X.03-3946-6311 E-mail : koyukai@alumni-toyo.jp
件名：校友会ジャーナル用メールアドレスの件

校歌

作詞 林 古溪
作曲 山田 耕筈

亜細亜の魂再び此処に
目覚めしよろこび溢れつ人に
雄々しく掲げたり^{とき}関の声
東洋大学生れぬかくて

亜細亜の天地暁明けて
仁義と慈悲との誠の光
今こそ輝け西の海
東洋大学務は重し

会員動静

(敬称略)

■お悔やみ申し上げます

石塚 徹 S42.建築卒 (会報部長)



編集後記

3年続きのコロナ禍とウクライナ戦争で、各方面において非常に大きな苦難や影響を受けておりますが、直近、オミクロン株蔓延に関しては若干落ちつきを見せており、停滞していた社会活動も一部ではありますが、元に戻りつつある明るい兆しを感じています。

そのような状況下において、東洋大学校友会活動も遅ればせながら時代の変化に即した変革を迫られ、Web会議・メールなどインターネットを利用した活動等も実施されるようになってきています。この度の「雨水」第38号発刊に際しては、対面協議ゼロ、全く面識もない校友の方々とのメール交換のみで進められてきています。会社などでは20年以上前から当たり前のことではありますが、漸く校友会活動も新たな転換点を迎えています。今回の会報「雨水」第38号発刊にあたり、会報事務局長である新潟市の本間様の絶大なる支援と、中越地区及び下越地区の素晴らしい原稿提供を受けたこと、並びに上越地区役員の方々等暖かい応援を戴きましたことに対し深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

一日も早く大勢の校友の皆様方と一堂に会して懇親会が開催できることを楽しみにしております。

(S47.3 経営学部商学科卒 高島幸男)